

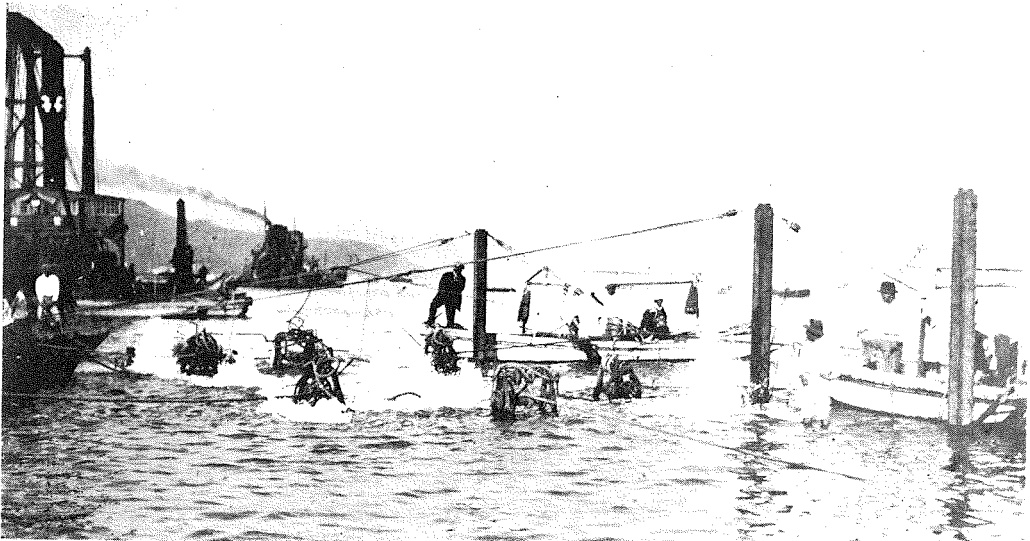
清水港修築工事狀況—前號の續



(11) 三保埋立工事 (二頁續き)

埋立地の周囲には護岸を施し、唧筒船カッター式(550馬力)を使用し海面15400坪を埋立つものにして寫眞の景は埋立地域の一部。

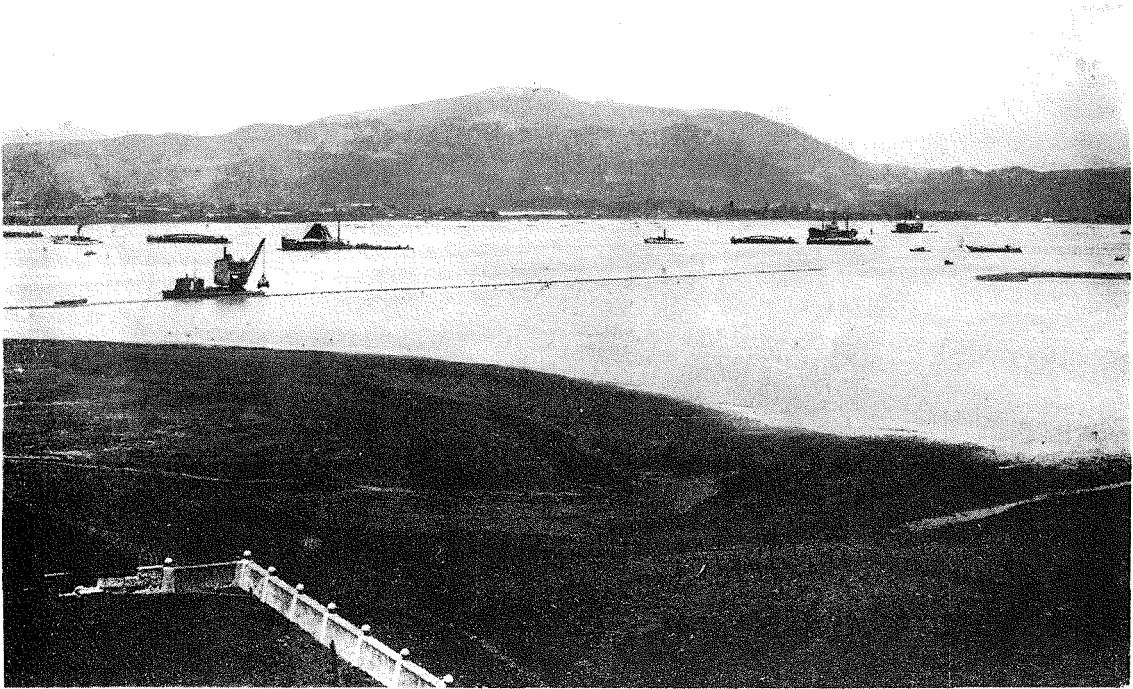
(11) Land reclaiming at Miho, a famous location in Japan.



(12) 函沈下の刹那。
満潮時に沈下の光景。

(12) How will it look when a caisson disappears forever from our sight.

Shimidzu-Minato under construction(Continued from previous issue)



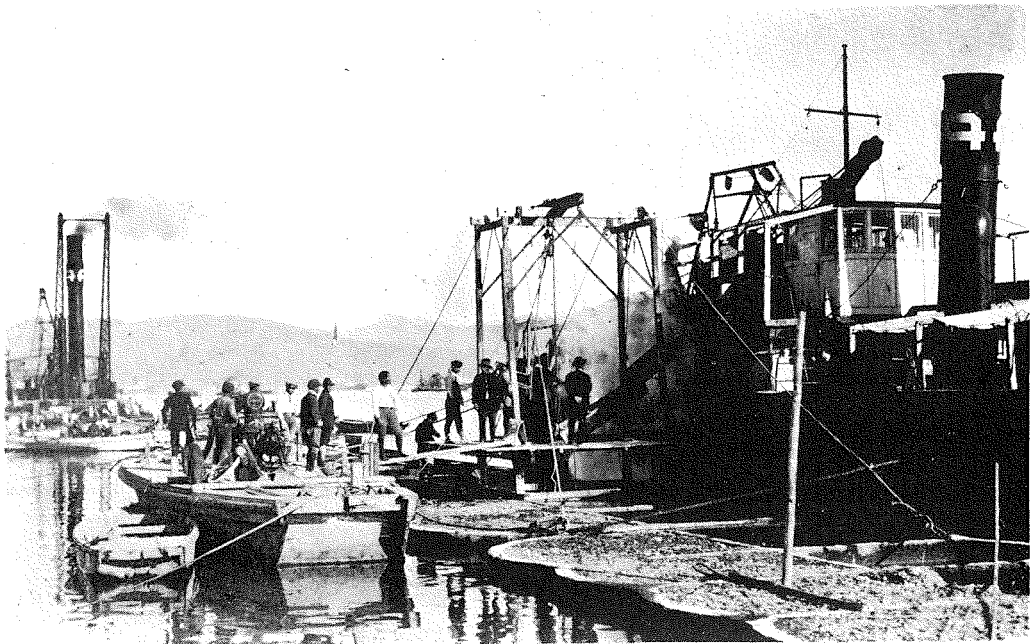
作業船は(霧島號汽罐を以て運轉す)コンクリート混合機、デリック起重機を有するものにして専ら函水中中詰コンクリート及砂利詰作業に用ふ。

函は前後五室宛にして前側の五室は各中央部に於て銅板製圓筒(直徑 1.8 米高 10 呎厚 $\frac{1}{2}$ 寸)を起重器により吊下げ上下し、圓筒内には砂利を詰め周囲には

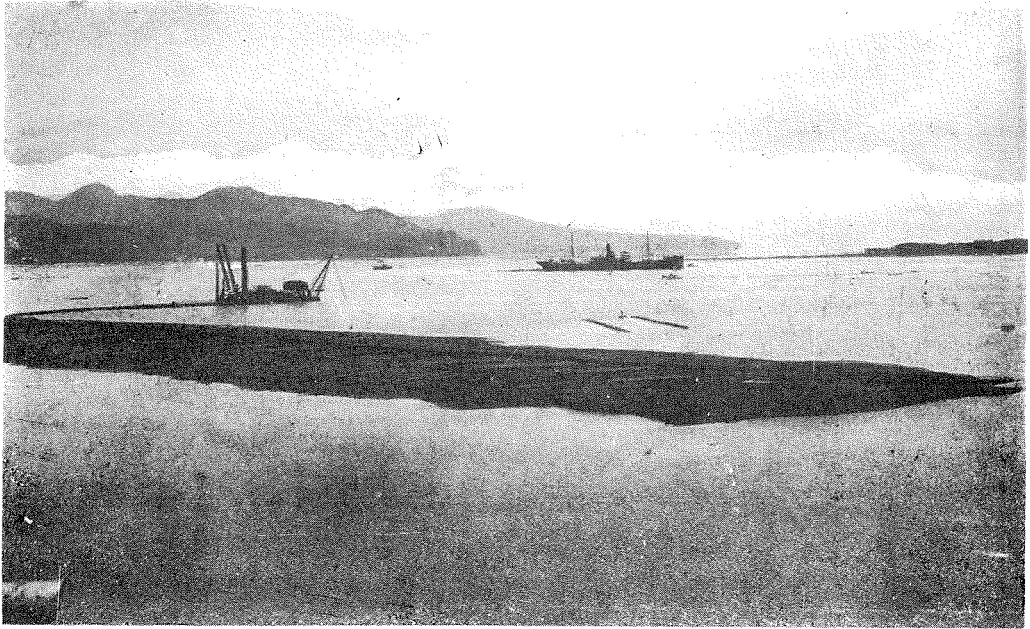
(13) 函水中中詰コンクリート工事

混凝土を帆布製袋に入れ袋の底は開閉自在(内外同高となる迄三噸捲揚機により垂下施工す。兩者の填充に應じて圓筒を起重機によりて上げ函の上部まで此方法を繰返す。函背後の五室には前室の作業と伴ひて砂利を填充す。

(13) Concreting in the caisson.



清水港修築工事狀況



(14) 三保埋立工事 (其二)
唧筒船によりて埋立中の狀況。

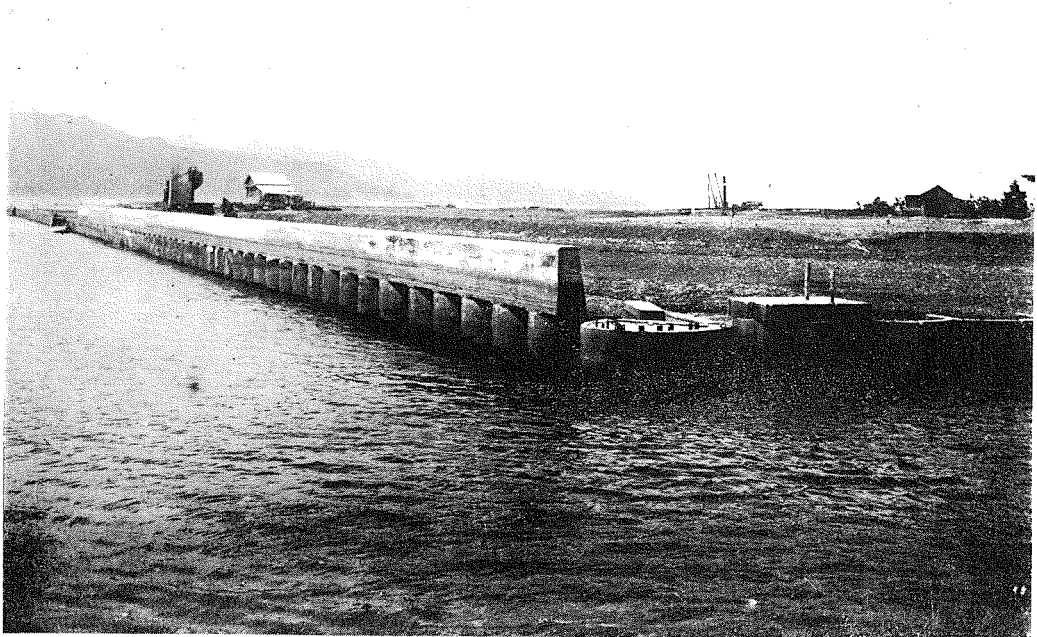
總面積 15,4600 坪三保埋立工事の一部分にして、護岸には高さ 3.0 米のL形ケーソンを天端干潮面上 1.35 米に据付け上層には高さ 1.15 米の擁

(15) 三保埋立地、護岸工事

(14) Land reclamation progressing at Miho, a famous location in Japan.

壁を築造し、裏は底開式土運船及プリストマン船にて充分裏込砂利を填充し、同時に土圍堤を施し、ポンプ船にて埋立たるものなり。

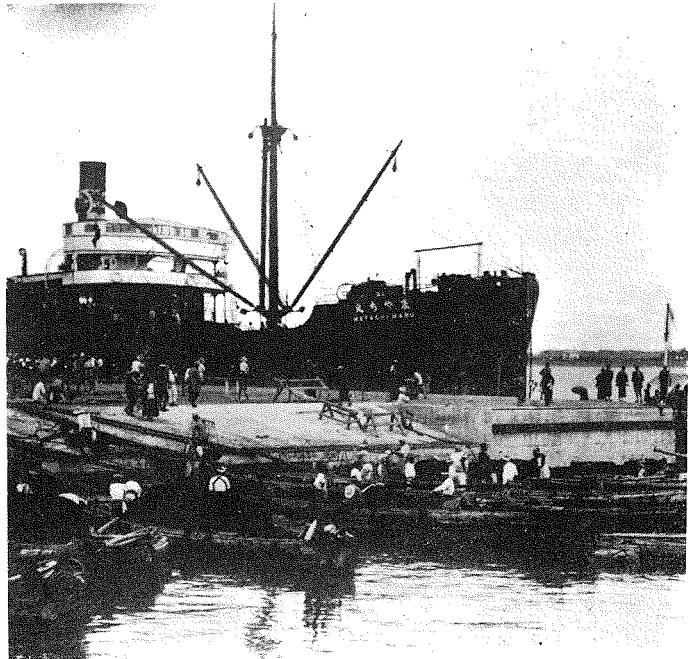
(15) Miho reclaimed land.



清水港修築工事狀況

(16)

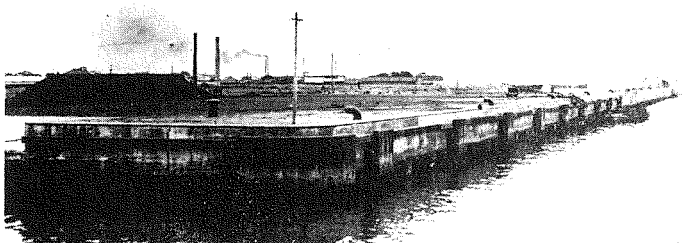
竣工せる三千噸級繫船岸壁
 本工事は潜函上部(干潮面上1.10米)に型枠を組立て高干潮面以上3.30米の場所詰コンクリートを一函毎に施行す。場所詰の形状は長14.0米上幅1.0米底幅1.6米平均高2.8米のものにして、一函の容積は平均66.0立方米とす防舷材は全部米松材(横材は長24尺同8.25尺1尺角縦材は長6.6尺2尺角及尺角)にして場所詰内に埋設したるアンカーボルト(直徑13²のものにして取換自由埋設す)により緊詰したるものなり。木材には全部エグールを塗抹す、縦材の中心互離は14.065米とす。場所詰の天端には綱摺用として長13²幅4²厚²の鋼板を直角に曲げ水平及垂直部より²のアンカーボルト二本を0.60米間隔に千島に取付け埋設したるものを縁金物として使用する。繫船曲柱は鑄鋼製にして長8²内徑11²厚1²の中空のものにして場所詰コンクリートより2.0高く28.093米間隔に立て近み埋設部の周囲には



(16) A wharf completed. This is good for 3,000 Ton class ships.

直徑3²のアンカーボルト並に其他の鐵筋を以て緊結す。繫船柱も曲柱と同じく鑄鋼製にして基礎は14²角深2.13米に掘鑿し杭打をなす。混凝土にアンカーボルトを埋設し取付けるものなり。

(17) One of wharves beautifully completed.



(18) 竣工せる物揚場工事(巴川左岸)

前面は干潮面上2米 天場は同3米にして斜面勾配5分ノ1の物揚場なり。函は長16.0米高4.0米の断面工字形上のものに鐵筋スラブを2段積となし其上部に平場0.74米の場所詰混凝土を施工す。餘面は厚0.30米2.0米方形に施工し繫船柱を設く。斜面の天場には溜桝を設け土管を以て函と函との間に排水をなすものとす。

橋臺は港内鐵道用のものなり

(以上)

